

きょうかいがっこうコーナー

4月25日(日)

ふっかつせつたい<sup>4</sup> しゅじつ  
復活節 第4の主日

ふくいん ヨハネ10・11～18

きょうかいがっこうのみなさん:おたがいのためにいのりましょうね。

(そのとき、イエスはいわれた)「わたしはよいひつじかいである。よいひつじかいはひつじのためにいのちをすてる。ひつじかいでなく、じぶんのひつじをもたないやといにんは、おおかみがくるのをみると、ひつじをおきざりにしてにげる。おおかみはひつじをうばい、またおいちらす。かれはやといにんで、ひつじのことをこころにかけていないからである。わたしはよいひつじかいである。わたしはじぶんのひつじをしっており、ひつじもわたしをしっている。それは、ちちがわたしをしっておられ、わたしがちちをしっているのとおなじである。わたしはひつじのためにいのちをすてる。わたしには、このかこいにはいっていないほかのひつじもある。そのひつじをもみちびかなければならない。そのひつじもわたしのこえをききわける。こうしてひつじはひとりのひつじかいにみちびかれ、ひとつのむれになる。わたしはいのちを、ふたたびうけるために、すてる。それゆえ、ちちはわたしをあいしてくださる。だれもわたしからいのちをうばいとることができない。わたしはじぶんでそれをすてる。わたしはいのちをすてることもでき、それをふたたびうけることもできる。これは、わたしがちちからうけたおきてである。

わたしはきょうのふくいんをよんでいくと、ちいさいときにすんでいたいなかで、ひつじのむれとおせわをしているひつじかいをまいにちみていました。ひつじをみてもおなじかおにみえましたが、ひつじかいはみんなちがうかおにみえるようです、いっぴきいっぴきになまえをつけていると、おしえてくださったときびっくりしました。あさはやくひつじのむれを、おいしいくさのあるところにつれて行って、よるになるともどって、いっぴきいっぴきかぞえながらあんぜんなばしょにいます。

イエスさまはごじぶんで「よいひつじかいである」といっておられます。ひつじのかおをもちろんしていますし、なまえもつけています、そしてあぶないめにであったらじぶんのいのちでさえひつじのためにすてます。イエスさまはひつじのむれのせんとうにたってみちびいていきます。ひつじたちはあんしんしてついていきます。

そのひつじはわたしたちのことです。わたしたちのなまえもしっていて、わたしたちをまもり、ゆたかないのちをあたえるためにごじぶんのいのちをささげてくださいました。

きょう、イエスさまはごじぶんをひつじであるわたしたちにいのちをあたえるよいひつじかいとして、わたしたちとなかよくなりたいです。わたしたちをだいじにされて、かみさまのくにつれて行ってくださいます。あんしんしてついていけますね。

だから、イエスさまのこえをきくためにしずかにしてイエスさまのこえをきこえるように  
みみをすましてまちましよう。

イエスさまはわたしたちをよんでおられます。ぼく、わたしのなまえでよんでいますよ。

きこえますか。きこえたら、どうしますか。

ときどきイエスさまはじぶんのかわりに、だれかをつかってよんでいますので、こたえま  
し  
ようね。

おとうさんですか、おかあさんでしょうか、せんせいでしょうか、おともだち、きょうかい  
がっこうのリーダーでしょうか、みみをすまして、ちゃんとこたえられるようにしまし  
ようね。

**ぬりえ**

**「わたしはよいひつじかいである」**

